

# 財政のあらまし

令和5年6月

神戸市

本書は、予算・決算など市の財政事情を市民のみなさんにお伝えする資料です。  
毎年6月と12月の年2回作成しています。

今回の令和5年6月号では、令和5年度当初予算の概要と、令和4年度下半期（令和4年10月1日から令和5年3月31日まで）の財政運営の状況についてご説明いたします。

# 目次

## I. 令和5年度当初予算のあらまし

1	令和5年度予算について.....	1
2	予算の概要.....	2

## II. 令和4年度下半期の財政運営のあらまし

1	予算の執行状況.....	3
2	市民負担の状況.....	3
3	市有財産の状況.....	4
4	企業会計の業務状況.....	5
5	一時借入金の状況.....	6
6	市債の状況.....	6

※各計数は、項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているものがあるため、合計と積上げが一致しない場合があります。

# 1. 令和5年度当初予算のあらまし

## 1 令和5年度予算について

新型コロナウイルス感染症の出現から3年が経過し、日常への回帰が進む中、長引くエネルギー価格・物価高騰により、市民や市内事業者への影響が増しており、今後の先行きも依然として不透明です。引き続き、市民の命や生活を守り、神戸経済を回復させるため、感染症や物価高騰に備えた対応等に全力で取り組んでまいります。

阪神・淡路大震災から28年、市民とともに震災という大きな危機を乗り越えてきました。一方で、人口減少・少子超高齢社会といった社会情勢の変化に加え、コロナの感染拡大により、豊かな自然環境の中での暮らしが価値を持つ時代が到来しつつあります。このような変化を捉え、コロナ後の社会に対応した政策課題の解決に向けて、スピード感をもって取り組む必要があります。

また、「SDGs（持続可能な開発目標）」に沿った施策の展開により、くらしの質と都市の価値を高めていくとともに、堅実な成長戦略により都市の成長を促す好循環を創出することで、将来世代が過度な負担を背負い込むことがないように、持続可能な大都市経営を行ってまいります。

神戸空港の国際化に向けた動きにより、神戸は国際都市としての新たなステージへと歩みを進めます。これらの効果を最大限に生かし、神戸を「さらなる高み」へ押し上げ、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現を確かなものにしてまいります。



ひさもと きぞう

神戸市長 久元 喜造

### 7 つ の 柱

- 1 コロナに打ち克ち、物価高騰に対応する
- 2 健康・安全を守る
- 3 温もりのある地域社会を創る
- 4 のびやかなくらしと環境を創る
- 5 力強い神戸経済を創る
- 6 未来に輝く神戸の街を創る
- 7 DXの活用による市民参加を進める

## ■ 令和5年度当初予算額

	令和5年度	令和4年度	対前年度比
一般会計	8,793億9,800万円	8,868億5,000万円	△ 74億5,200万円
特別会計	6,802億5,000万円	6,604億9,900万円	+ 197億5,100万円
企業会計	3,284億1,800万円	3,330億4,600万円	△ 46億2,800万円
合計	1兆 8,880億6,600万円	1兆 8,803億9,500万円	+ 76億7,100万円

(注)詳細については、神戸市のホームページ「令和5年度当初予算の概要」をご覧ください。  
<https://www.city.kobe.lg.jp/documents/48584/2023yosanngaiyou.pdf>

## (1) 一般会計

コロナ禍における原油価格・物価高騰対策と、感染拡大防止・医療提供体制の安定的確保に取り組むとともに、「SDGs（持続可能な開発目標）」に沿った施策の展開により、くらしの質と都市の価値を高め、「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けた施策を積極的に計上しました。

## (2) 特別会計

神戸空港の国際化を見据え、空港基本施設やサブターミナル等の整備を進めるにあたり、空港整備事業費特別会計を新設しました。

## (3) 企業会計

西神中央ホールの整備に伴う土地購入費の減等により新都市整備事業会計が減少した一方で、空港整備事業費への貸付金の皆増により港湾事業会計が増加しました。

## 用語の解説

- ◆一般会計 福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計（財布）です。主に市税や地方交付税などによってまかなわれます。
- ◆特別会計 特定の事業を特定の歳入によって実施するための会計の総称です。一般会計と区分して整理することで、個々の事業の収支や運営実績が明確になります。国民健康保険事業費や介護保険事業費、市営住宅事業費など、本市では12会計あります。
- ◆企業会計 地方公共団体が直接、社会公共の利益を目的として経営する地方公営企業の会計の総称です。主に利用者のみなさんが支払う料金収入で事業を行います。交通事業や上下水道事業など、本市では7会計あります。

## II. 令和4年度下半期の財政運営のあらまし

### 1 予算の執行状況

#### ■ 令和4年度現計予算額

	当初予算額	補正予算額 (上半期)	補正予算額 (下半期)	現計予算額
一般会計	8,868億5,000万円	223億4,900万円	533億1,000万円	9,625億900万円
特別会計	6,604億9,900万円	-	93億5,000万円	6,698億4,900万円
企業会計	3,330億4,600万円	1,500万円	44億1,900万円	3,374億8,000万円
合計	1兆8,803億9,500万円	223億6,400万円	670億7,900万円	1兆9,698億3,800万円

#### ■ 一般会計・特別会計の執行状況（令和5年3月31日現在）

##### （一般会計）

	現計予算額	執行（収入）額	執行（収入）率
歳出	9,625億900万円	6,793億2,100万円	70.6%
歳入	9,625億900万円	8,583億1,500万円	89.2%

##### （特別会計）

	現計予算額	執行（収入）額	執行（収入）率
歳出	6,698億4,900万円	5,812億2,100万円	86.8%
歳入	6,698億4,900万円	4,193億7,300万円	62.6%

### 2 市民負担の状況

一般会計の令和4年度現計予算額における市民のみなさんの直接負担となる市税の予算額について、1世帯・1人あたりの額は、次のとおりとなっています。

	歳入総額	うち市税 (歳入総額に対する割合(%))	1世帯あたり 負担額	1人あたり 負担額
現計予算額	9,625億円	3,125億円 (32.5%)	421,329円	207,679円

(注)令和5年3月1日時点の世帯数741,636世帯、人口1,504,597人で算出しています。

### 3 市有財産の状況

財産とは、公有財産、物品、債券および基金です。

このうち、公有財産とは、市が所有している財産で、土地、建物、地上権、地役権、有価証券、出資による権利などの財産をいいます。

種類	数量			備考		
	単位	行政財産	普通財産		計	
公有財産	土地	㎡	42,377,942	25,064,730	67,442,672	
	建物	延㎡	6,688,105	442,331	7,130,436	
	立木	㎡	—	143,795	143,795	
	船舶	隻	1	—	1	消防艇
	浮棧橋	基	1	—	1	
	航空機	機	2	—	2	ヘリコプター
	地上権	㎡	1,763	1,420	3,183	
	地役権	㎡	15,374	—	15,374	
	温泉権	件	9	1	10	銀泉、しあわせの村温泉等
	無体財産権	件	—	50	50	えがおの窓口、神戸ウイングスタジアム商標権等
	有価証券	千円			13,353,650	関西国際空港土地保有株式会社株券等
	出資による権利	千円			254,802,598	日本高速道路保有・債務返済機構出資金等
物品	点			7,776		
債権	千円			96,379,072		
基金	千円			501,929,081		

(注)数量は速報値のため、決算とは異なる場合があります。

※繰替運用の残高

(単位：百万円)

基金名	運用残高	内容
神戸市公債基金	149	一般会計財源対策資金等
神戸市市民福祉振興等基金	1,100	有料老人ホーム「サン舞子マンション」建設資金等
神戸市営住宅敷金等積立基金	266	鹿の子台南住宅取得資金等
合計	1,515	

#### 用語の解説

- ◆行政財産 庁舎、事務所、学校、公園など、公用または公共用に利用される財産をいいます。
- ◆普通財産 行政財産以外のすべての公有財産をいいます。

会計別	業務の予定量（3月補正後）
下水道事業会計	(1) 下水及びし尿処理 : 下水処理量 490,874m <sup>3</sup> /日 し尿処理量 83m <sup>3</sup> /日 (2) 汚水中継及び雨水排除 : 汚水中継量 73,093m <sup>3</sup> /日 雨水排除量 10,085,373m <sup>3</sup> /年
港湾事業会計	(1) 港湾管理 : 岸壁 5,500万t 物揚場 17万t 埠頭用地 専用1億7,000万m <sup>2</sup> 、一般4,800万m <sup>2</sup> 港湾幹線道路 600万台 入港料対象船舶 1億5,400万t (2) 港湾施設運営 : 上屋 専用3,500万m <sup>2</sup> 、一般3,300万m <sup>2</sup> 荷役機械 400回/30分 船舶給水 17万m <sup>3</sup>
新都市整備事業会計	土地売却量 : ポートアイランド <sup>®</sup> （第2期） 28,100m <sup>2</sup> 西神住宅団地 2,500m <sup>2</sup> 西神住宅第2団地 9,100m <sup>2</sup> 神戸複合産業団地 51,400m <sup>2</sup>
自動車事業会計	(1) 運転車両数 : 161,134両/年、441両/日 (2) 運転キロ : 16,370,250km/年、44,850km/日 (3) 輸送人員 : 54,323,411人/年、148,831人/日
高速鉄道事業会計	(1) 運転車両数 : 69,890両/年、191両/日 (2) 運転キロ : 22,356,629km/年、61,251km/日 (3) 輸送人員 : 100,412,230人/年、275,102人/日
水道事業会計	(1) 給水量 : 169,706,000m <sup>3</sup> /年、464,948m <sup>3</sup> /日 (2) 給水戸（箇所）数 : 818,642戸（箇所）
工業用水道事業会計	(1) 給水量 : 15,756,123m <sup>3</sup> /年、43,167m <sup>3</sup> /日 (2) 給水工場数 : 73工場

## 5

## 一時借入金の状況

令和5年3月31日現在における一時借入金の借入限度額・現在高は、次のとおりとなっています。

会計		借入限度額	現在高
一般会計		900億円	-
企業会計	下水道事業会計	10億円	-
	港湾事業会計	200億円	-
	新都市整備事業会計	-	-
	自動車事業会計	45億円	35億円
	高速鉄道事業会計	175億円	-
	水道事業会計	30億円	-
	工業用水道事業会計	7億円	-
合計		1,367億円	35億円

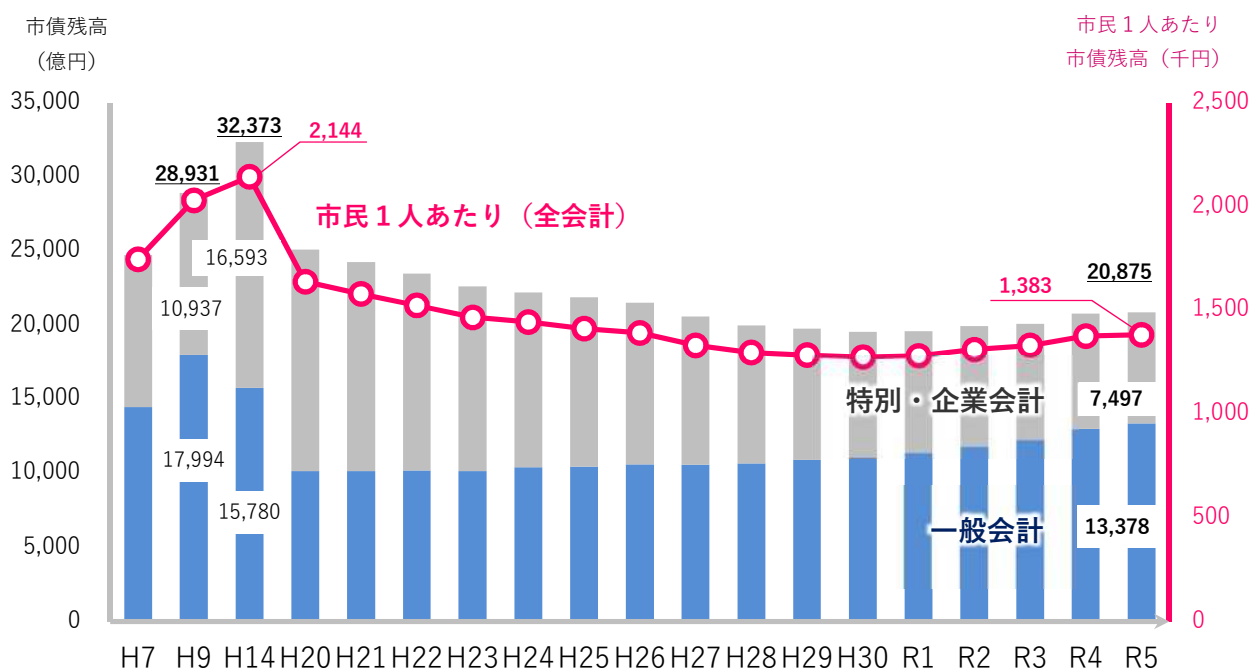
(注) 特別会計の一時借入金はありません。

## 6

## 市債の状況

市民生活や産業振興などに必要な都市施設の整備や、安全で安心なまちづくりを進めるために市債を発行しています。事業の優先順位を明確化し、施策の重点化を行うことによって、将来世代に大きな負担を残さないよう、市債残高の適正な管理に努めています。

	令和3年度末 現在高	令和4年度末 現在高見込額	令和5年度末 現在高見込額
一般会計	1兆2,293億円	1兆3,022億円	1兆3,378億円
特別会計	1,836億円	1,698億円	1,574億円
企業会計	5,974億円	6,077億円	5,923億円
合計	2兆 103億円	2兆 797億円	2兆 875億円



(注) 市民1人あたりは各年度3月末現在の住民基本台帳登録人口により計算しています。

(「R4」「R5」はR4年12月末現在の住民基本台帳登録人口により計算しています。)